

医薬総発 0906 第 1 号  
医薬監麻発 0906 第 1 号  
令和 6 年 9 月 6 日

各  
都道府県  
保健所設置市  
特別区  
衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医薬局総務課長  
（公印省略）  
厚生労働省医薬局監視指導・麻薬対策課長  
（公印省略）

#### 令和 5 年度医薬品販売制度実態把握調査結果について

厚生労働省では、薬局・店舗販売業が医薬品の販売に際し、店舗やインターネットで消費者に適切に説明を行っているかどうか等についての調査を平成 21 年度から毎年度行っています。平成 26 年度からは、一般用医薬品のインターネットでの販売状況や要指導医薬品の店舗での販売状況を含めて調査を行っており、今般、令和 5 年度の調査結果を取りまとめましたので、別添のとおりお知らせします。

今回の調査について、店舗での販売においては、「要指導医薬品販売における文書による情報提供の有無」等の項目で改善が見られました。「濫用等のおそれのある医薬品を複数購入しようとしたときの対応」については、令和 5 年 4 月 1 日より、濫用等のおそれのある医薬品の対象品目が拡大されたものの、販売時の対応が適切であった割合について低下は見られませんでした。依然として、「濫用等のおそれのある医薬品を複数購入しようとしたときの対応」をはじめとして、販売ルールを遵守していない薬局・店舗販売業が存在するため、更なる遵守率の向上に向けて販売ルールの徹底が必要です。

また、前年度までの調査では、一般用医薬品（第一類医薬品を除く。）を購入する前に必ず調査員が専門家へ医薬品の使用方法等について相談した上で購入し、対応状況を調査しておりましたが、今回の調査では相談を行わずに購入する際の店舗での薬剤師・登録販売者の対応状況についても調査を行いました。

については、今回の調査で遵守率が不十分であった項目等を中心に監視指導の強化を行うとともに、販売に従事する薬剤師、登録販売者の資質向上に係る研修等について周知徹底いただくなど、より一層の医薬品販売制度の遵守徹底に向けた対応をお願いします。

## 令和5年度医薬品販売制度実態把握調査結果について（概要）

令和6年9月  
医薬局総務課

### 1. 調査の目的

若年者の中で医薬品の濫用が問題になっていることや、医薬品の販売制度に関する検討会での検討等を踏まえ、医薬品の販売ルールの遵守状況等について、一般消費者の立場からの目線で調査することにより、医薬品販売の適正化を図ることを目的としている。

### 2. 調査の内容 注）委託により実施（委託先：株式会社mitoriz）

#### (1) 薬局・店舗販売業の店舗販売に関する調査

全国の薬局・店舗販売業の許可を取得している店舗を対象に、一般消費者である調査員が選択した店舗を訪問し、店舗での状況や従事者の対応等について調査。

（調査対象数）3,025件（うち、薬局1,288件、店舗販売業1,737件）

（調査期間） 令和5年11月～令和6年3月

- （調査事項） ① 従事者の区別状況  
② 要指導医薬品の販売方法（本人確認、薬剤師による販売）  
③ 一般用医薬品の情報提供、相談対応の状況 等

#### (2) 薬局・店舗販売業の特定販売（インターネット販売）に関する調査

インターネットで一般用医薬品を販売しているサイトを厚生労働省ホームページに掲載されている「一般用医薬品の販売サイト一覧」から選定し、一般消費者である調査員が調査。

（調査対象数）500件

（調査期間） 令和5年11月～令和6年3月

（調査事項） 一般用医薬品の情報提供、相談対応の状況 等

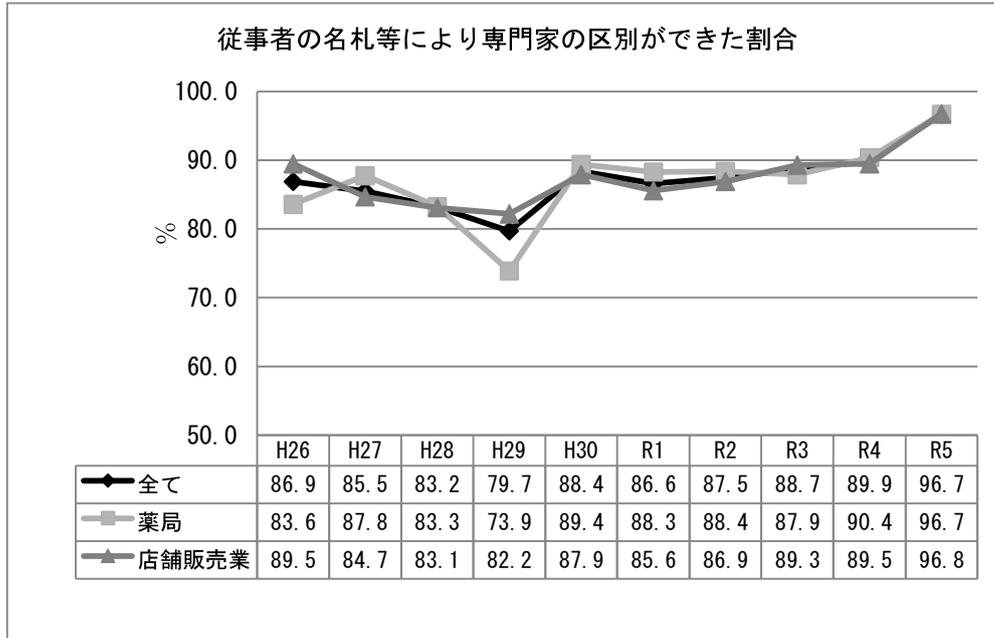
**3. 主な調査結果** (小数第2位を四捨五入しており、合計が100%とならない場合があります)

**(1) 薬局・店舗販売業の店舗販売に関する調査**

① 従事者の名札等により専門家の区別ができたか：

調査件数3,025件 (薬局1,288件 店舗販売業1,737件)

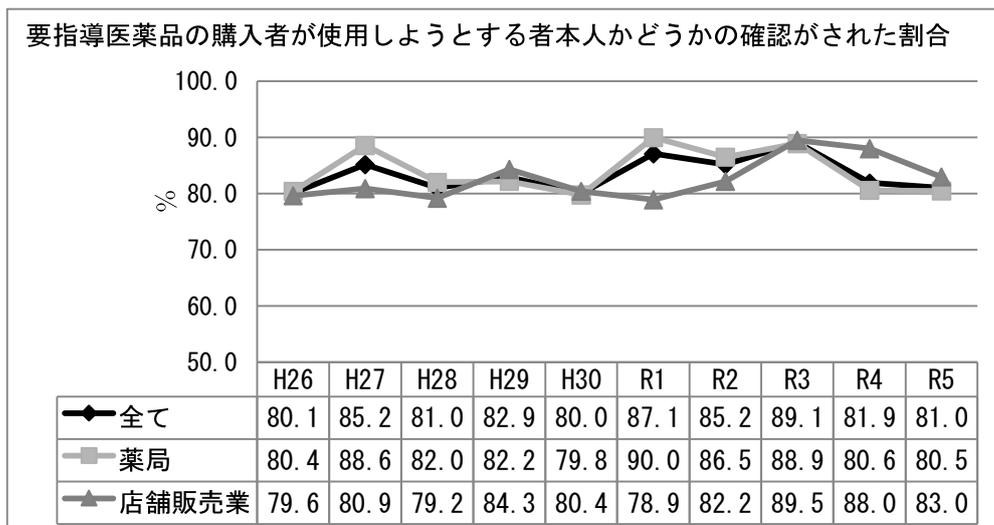
区別できた 96.7%(2,926件) / 区別できなかった等 3.3%(99件)



② 要指導医薬品の購入者が使用しようとする者本人かどうかの確認：

調査件数284件 (薬局231件 店舗販売業53件)

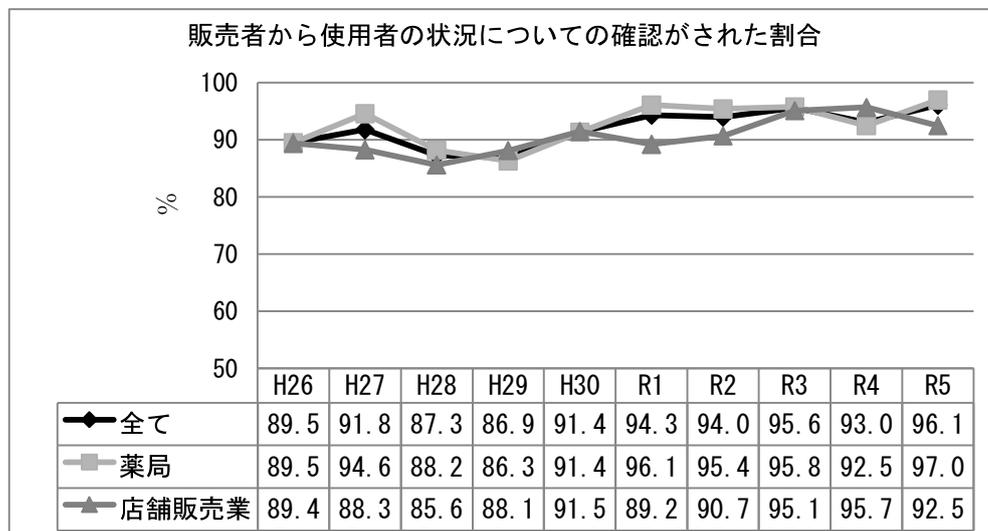
確認あり 81.0%(230件) / 確認なし 19.0%(54件)



③ 要指導医薬品販売時における使用者の状況（\*）についての確認：

調査件数284件（薬局231件 店舗販売業53件）

確認あり 96.1% (273件) / 確認なし 3.9% (11件)



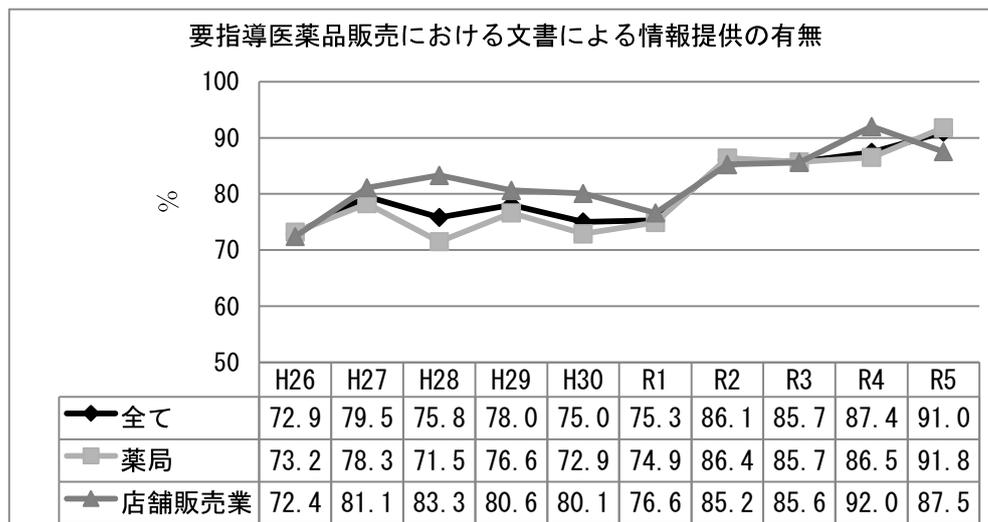
\* 年齢、症状、他の医薬品の使用の状況等

④ 要指導医薬品販売における文書による情報提供の有無：

調査件数268件（薬局220件 店舗販売業48件）

文書を用いて情報提供があった 91.0% (244件) / 文書を渡されたが詳細な説明がな

かった 2.6% (7件) / 口頭のみでの説明だった 6.3% (17件)

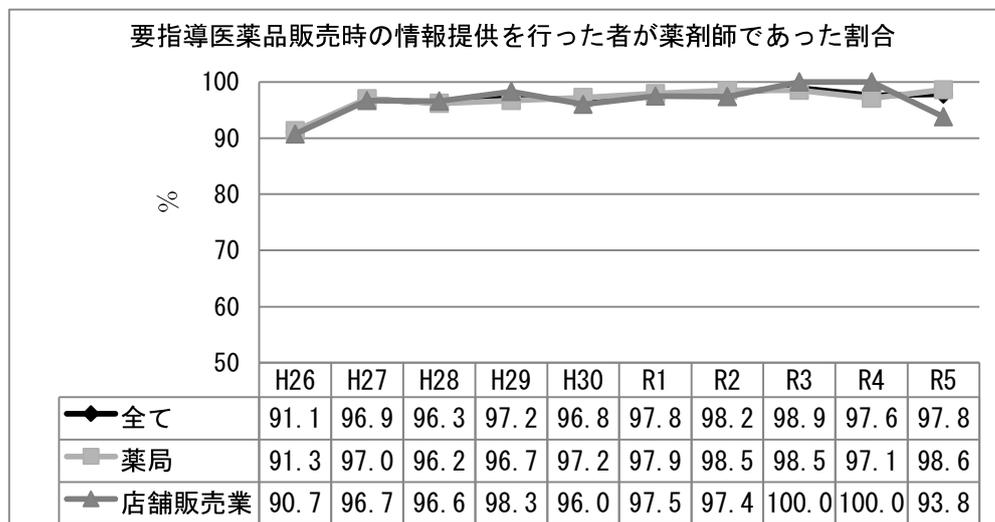


※情報提供があった店舗（令和5年度268件（94.4%）のうち、文書を用いて情報提供があった等の数値

⑤ 要指導医薬品販売時の情報提供を行った者：

調査件数268件（薬局220件 店舗販売業48件）

薬剤師 97.8% (262件) / 登録販売者 1.5% (4件) / 一般従事者 0% (0件) / 名札未着用等のため不明 0.7% (2件)

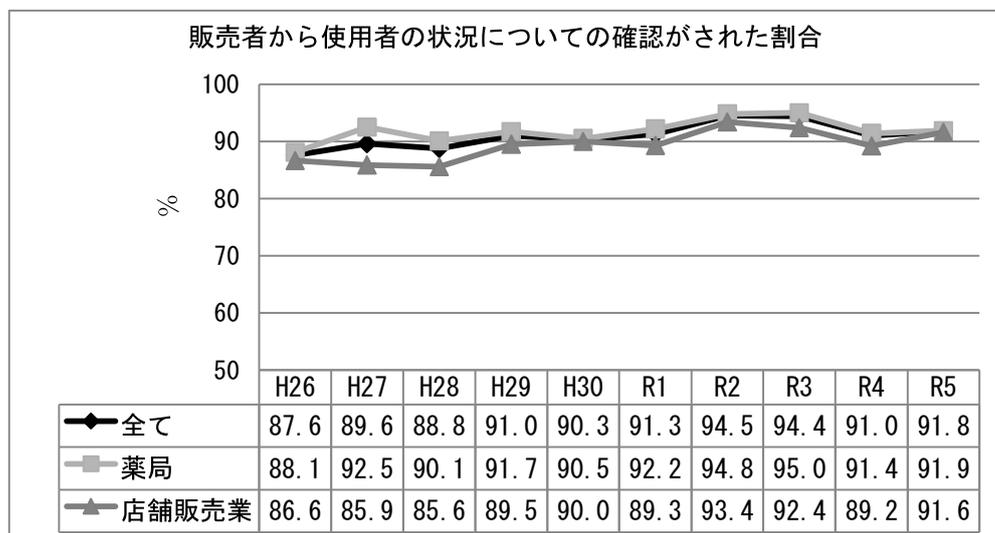


※情報提供があった店舗（令和5年度268件（94.4%））のうち情報提供を行った者の数値

⑥ 第1類医薬品販売時における使用者の状況（\*）についての確認：

調査件数806件（薬局663件 店舗販売業143件）

確認あり 91.8% (740件) / 確認なし 8.2% (66件)

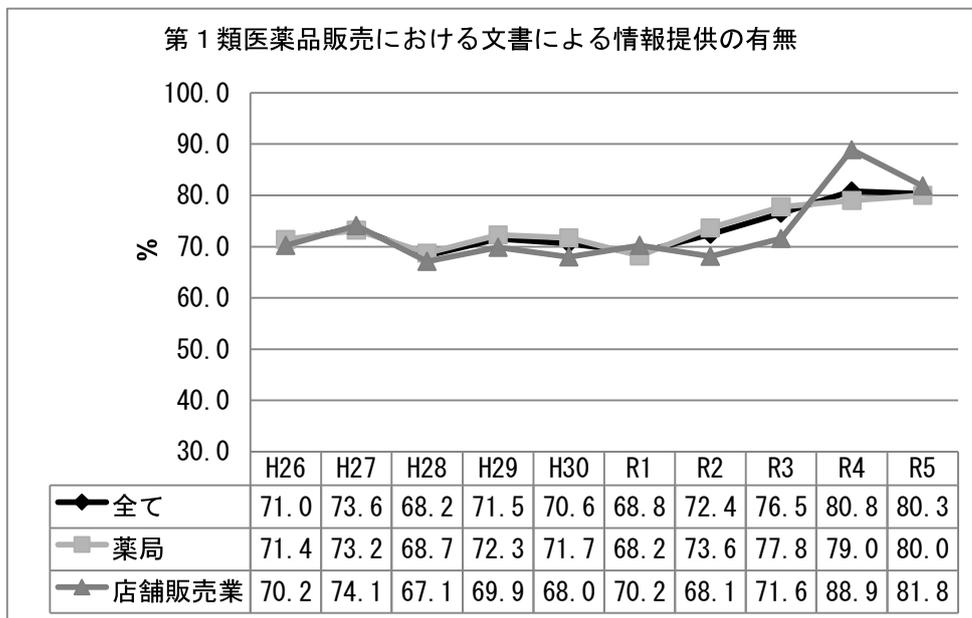


\* 年齢、症状、他の医薬品の使用の状況等

⑦ 第1類医薬品販売における文書による情報提供の有無：

調査件数753件（薬局621件 店舗販売業132件）

文書を用いて情報提供があった 80.3%（605件）／文書を渡されたが詳細な説明がなかった 2.4%（18件）／口頭のみでの説明だった 17.3%（130件）

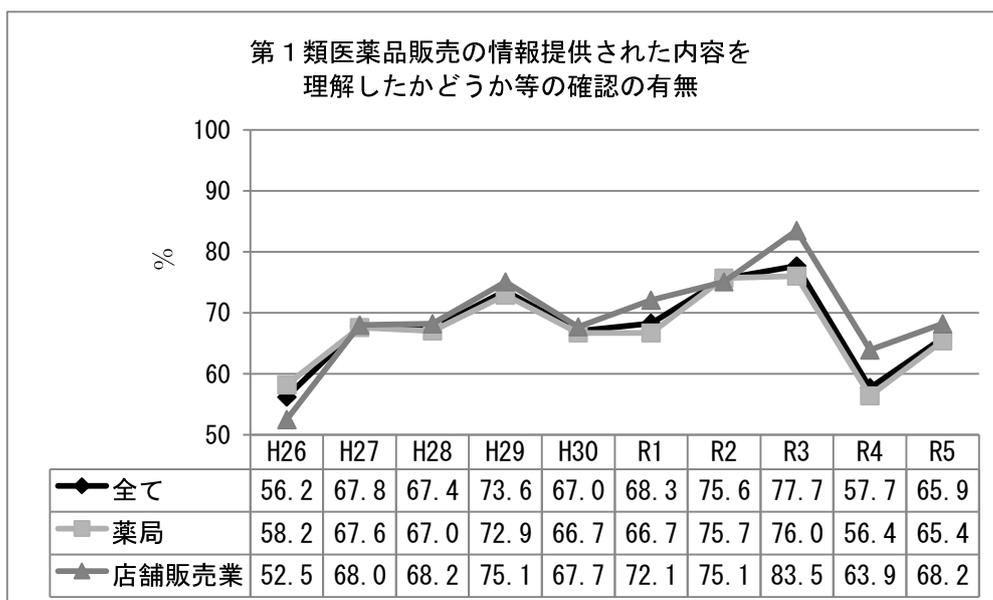


※情報提供があった店舗（令和5年度753件（93.4%））のうち、文書を用いて情報提供があった等の数値

⑧ 第1類医薬品販売の情報提供された内容を理解したかどうか等の確認の有無：

調査件数 753 件（薬局 621 件 店舗販売業 132 件）

確認があった 65.9%（496件）／確認がなかった 34.1%（257件）

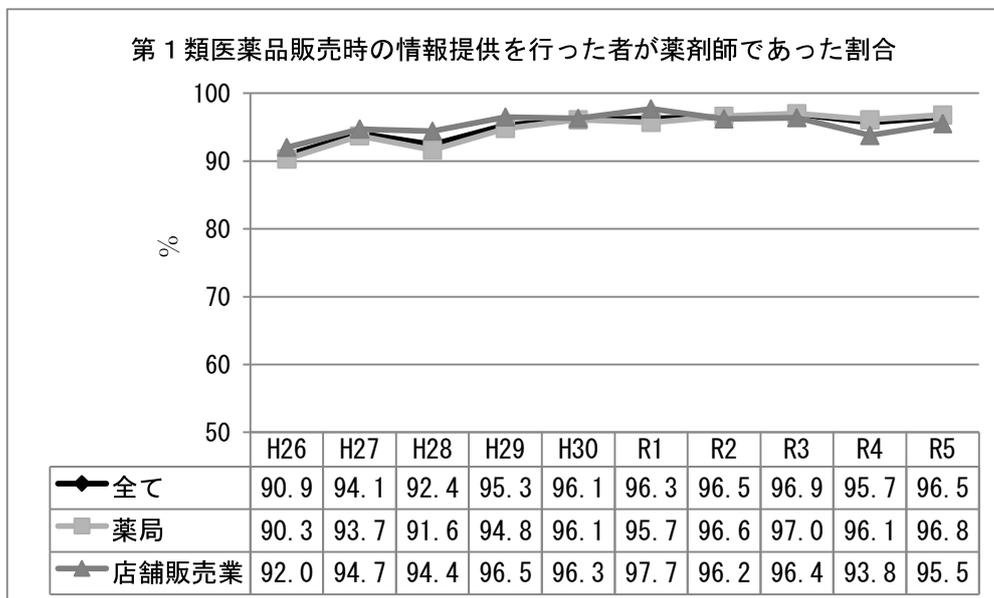


※情報提供があった店舗（令和5年度753件（93.4%））のうち、情報提供された内容を理解したかどうか等の確認の有無の数値

⑨ ⑦の情報提供を行った者：

調査件数 753 件（薬局 621 件 店舗販売業 132 件）

薬剤師 96.5% (727件) / 登録販売者 1.3% (10件) / 一般従事者 0.4% (3件) / 名札未着用等のため不明 1.7% (13件)

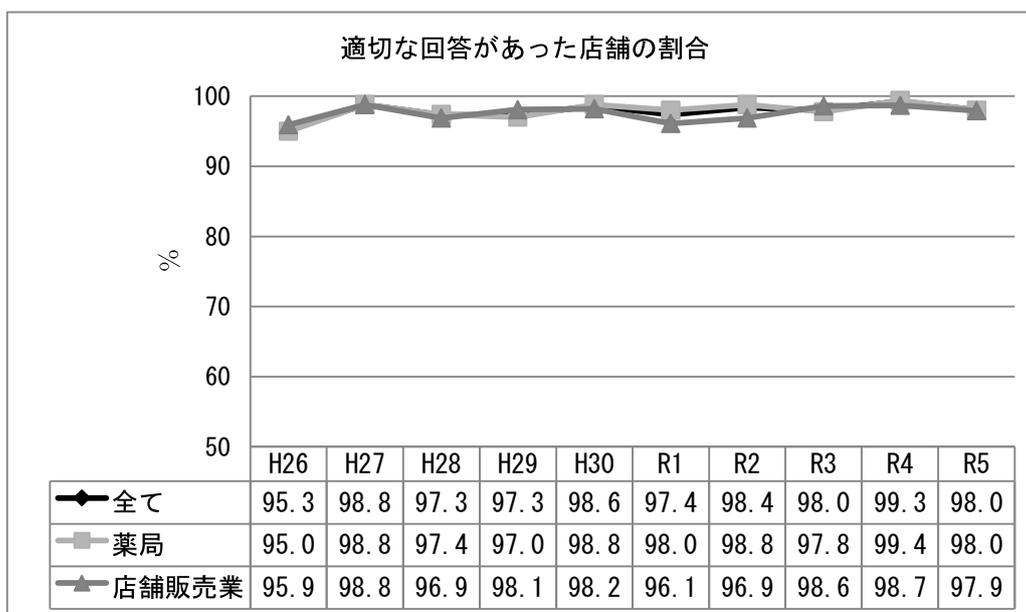


※情報提供があった店舗（令和5年度753件（93.4%））のうち、情報提供を行った者の数値

⑩ 第1類医薬品に関する相談に対し、適切な回答があったか（\*）：

調査件数 806 件（薬局 663 件 店舗販売業 143 件）

適切な回答があった 98.0% (790件) / 適切な回答がなかった 2.0% (16件)

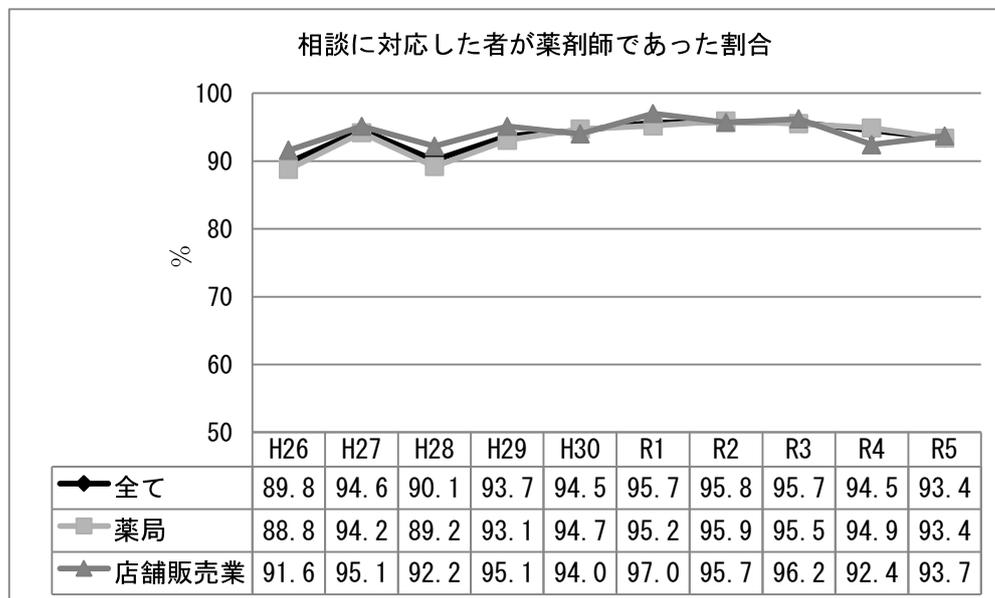


\* 「この薬眠くなりやすいですか」等を質問し、それに対応する注意事項（添付文書に記載されている事項）等が回答された場合を「適切な回答があった」とした。

⑪ ⑩の相談に対応した者の資格：

調査件数 806 件（薬局 663 件 店舗販売業 143 件）

薬剤師 93.4% (753件) / 登録販売者 2.7% (22件) / 一般従事者 1.2% (10件) / 名  
札未着用等のため不明 2.6% (21件)

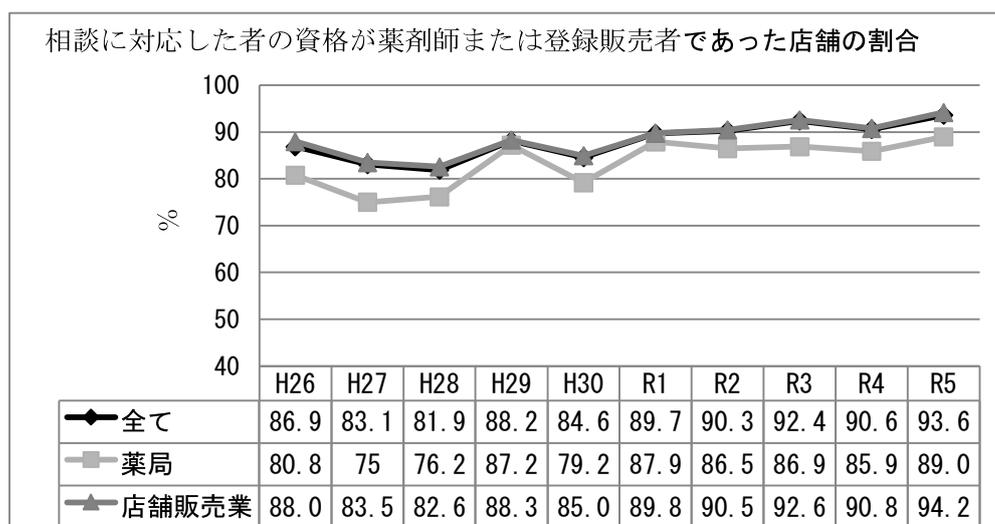


⑫ 第2類医薬品等に関する相談に対応した者の資格

調査件数 1,520 件（薬局 208 件 店舗販売業 1,312 件）

薬剤師 8.5% (129 件) / 登録販売者 85.1% (1,293 件)

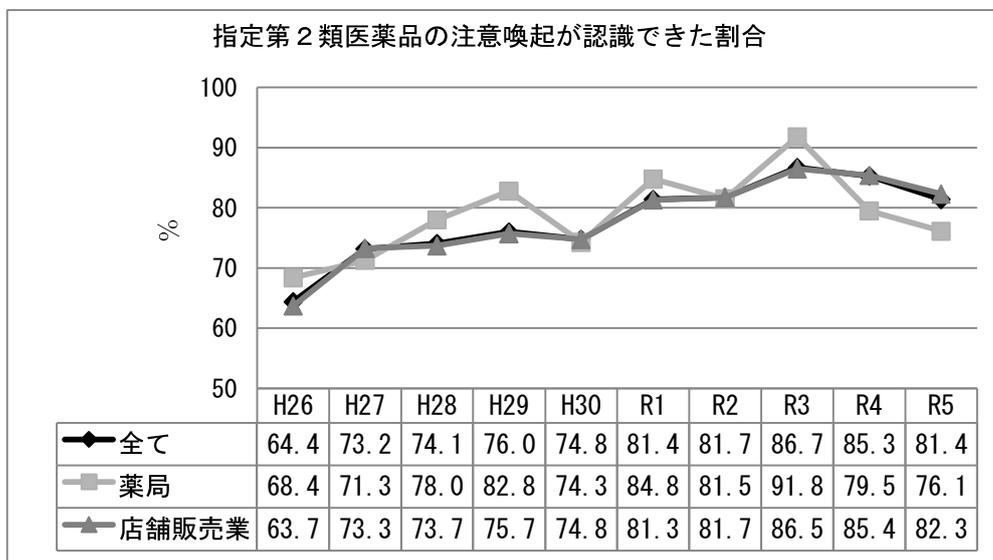
一般従事者 2.8% (43 件) / わからなかった 3.6% (55 件)



⑬ 指定第2類医薬品の注意喚起（\*）の状況：

調査件数 1,738 件（薬局 255 件 店舗販売業 1,483 件）

認識できた 81.4% (1,414 件) / 認識できなかった 18.6% (324 件)

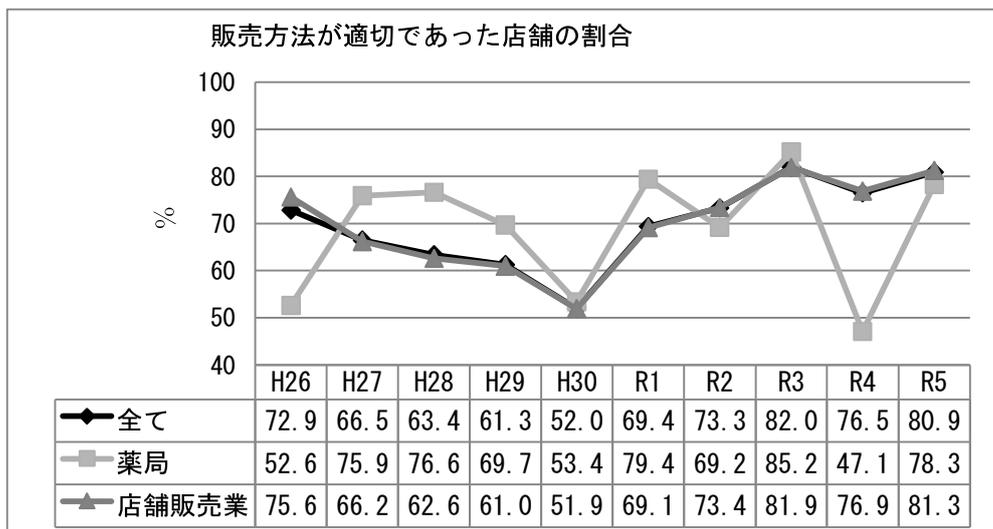


\* 「禁忌を確認すること」、「薬剤師または登録販売者に相談すること」を勧める旨

⑭ 濫用等のおそれのある医薬品（\*1）を複数購入しようとした時の対応（\*2）：

調査件数 1,256 件（薬局 189 件 店舗販売業 1,067 件）

1つしか購入できなかった 48.6% (611 件) / 複数必要な理由を伝えたところ、購入できた 32.2% (405 件) / 質問等されずに購入できた 19.1% (240 件) / その他 0.0% (0.0%)



\* 1 エフェドリン／コデイン／ジヒドロコデイン／ブロモバレリル尿素／プソイドエフェドリン／メチルエフェドリンを成分として含有する医薬品。

\* 2 「1つしか購入できなかった」、「複数必要な理由を伝えたところ、購入できた」、「その他（購入せずに医者を受診するようにすすめられた等）」を販売方法が適切であったとした。

⑮ 相談を行わずに一般用医薬品（第1類医薬品を除く。）を購入しようとした際の対応：

調査件数 276 件（薬局 77 件 店舗販売業 199 件）

	対応状況	薬局（77 件）	店舗販売業（199 件）	計（276 件）
1	薬剤師・登録販売者がレジ対応をした	39(50.6)	124(62.3)	163(59.1)
2	会計等は薬剤師・登録販売者以外が対応したが、レジで薬剤師・登録販売者が情報提供を行った	21(27.3)	23(11.6)	44(15.9)
3	医薬品購入前に薬剤師・登録販売者から声をかけられた	0(0.0)	3(1.5)	3(1.1)
4	レジで薬剤師または登録販売者に相談してから会計をするよう言われた	2(2.6)	1(0.5)	3(1.1)
5	薬剤師・登録販売者の説明が必要か聞かれ「必要ない」と答えるとそのまま売ってくれた	0(0.0)	1(0.5)	1(0.4)
6	質問等されずに医薬品を購入できた	15(19.5)	47(23.6)	62(22.5)

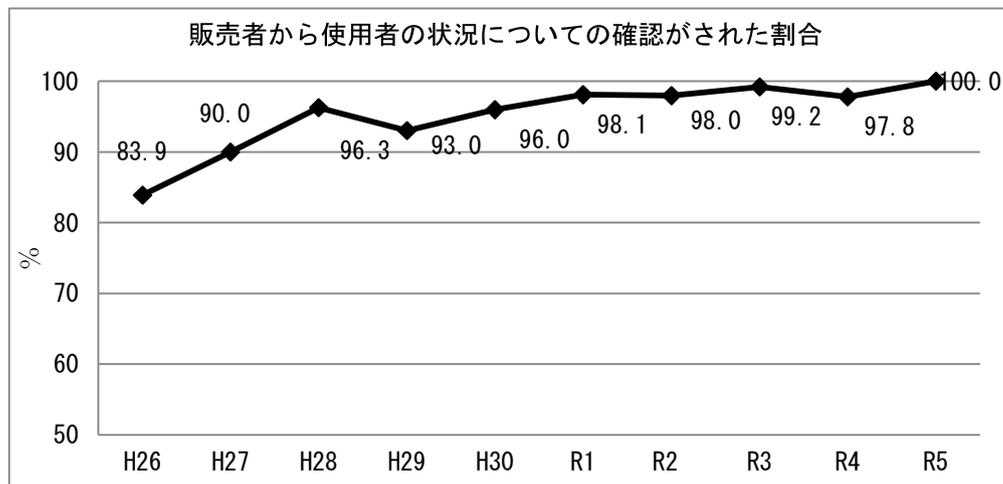
\* 1 3～6については、薬剤師・登録販売者以外がレジ対応した場合の対応状況となっている。

## (2) 特定販売（インターネット販売）に関する調査

### ① 第1類医薬品販売時の使用者の状況（\*）についての確認状況：

調査件数 81 件（薬局 32 件 店舗販売業 49 件）

確認あり 100.0%(81 件)／確認なし 0.0%(0 件)

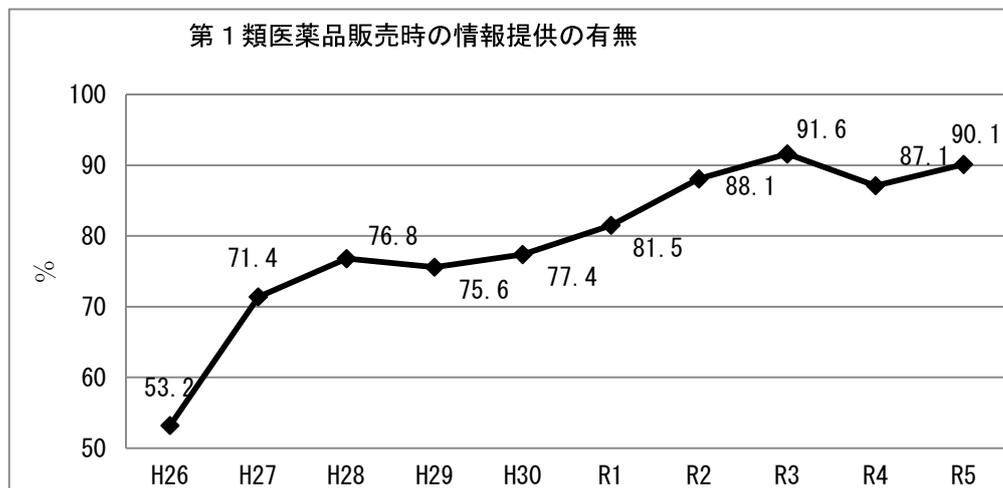


\* 年齢、症状、他の医薬品の使用の状況等

### ② 第1類医薬品販売時の情報提供の有無\*：

調査件数 81 件（薬局 32 件 店舗販売業 49 件）

情報提供あり 90.1%(73件)／情報提供なし9.9%(8件)

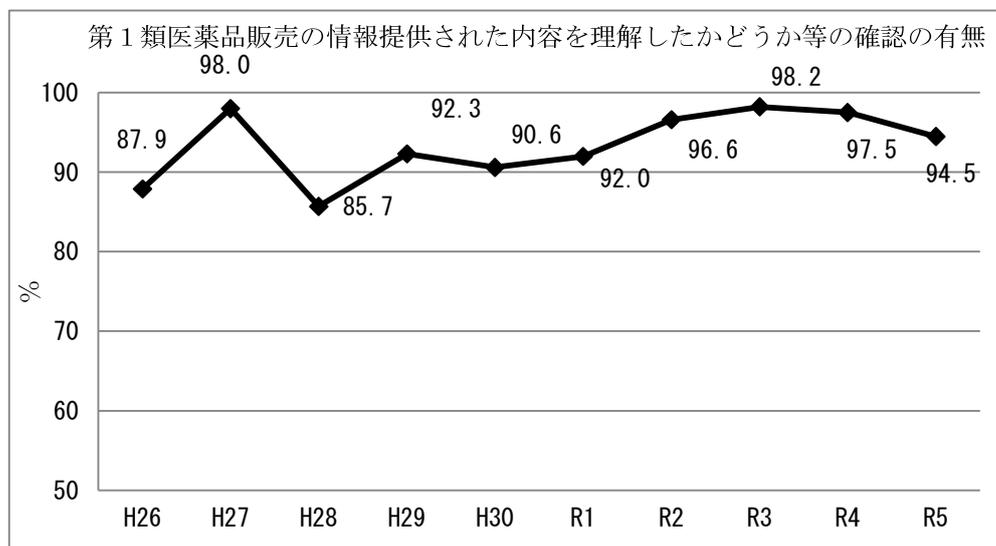


\* 購入者が購入前に確認する必要等の有無にかかわらず、Web サイトに情報が掲載されていた場合に情報提供ありとしている。

③ 第1類医薬品販売の情報提供された内容を理解したかどうか等の確認の有無：

調査件数 73 件（薬局 29 件 店舗販売業 44 件）

確認があった 94.5% (69件) / 確認がなかった 5.5% (4件)



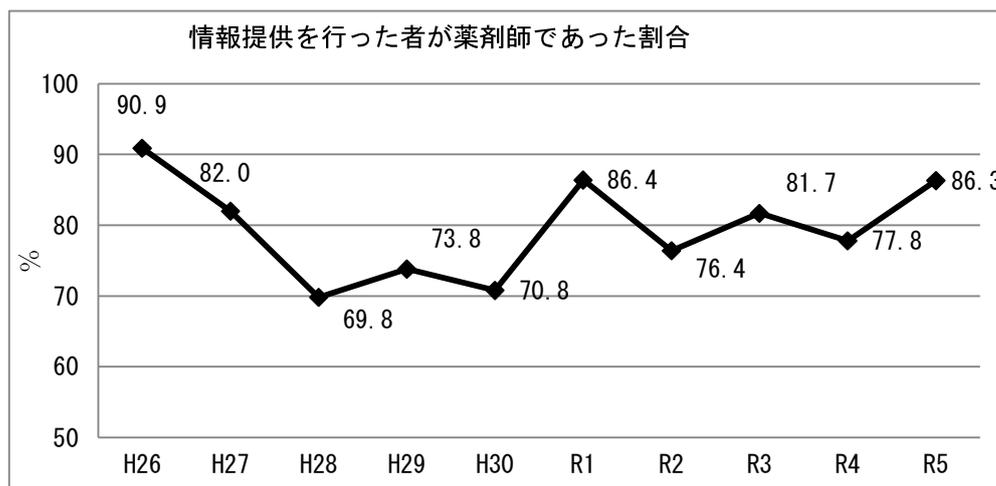
※情報提供があったウェブサイト（令和5年度 73 件（90.1%））のうち、情報提供された内容を理解したかどうか等の確認の有無の数値

④ ②の情報提供を行った者の資格：

調査件数 73 件（薬局 25 件 店舗販売業 48 件）

薬剤師 86.3% (63件) / 登録販売者 0.0% (0件) /

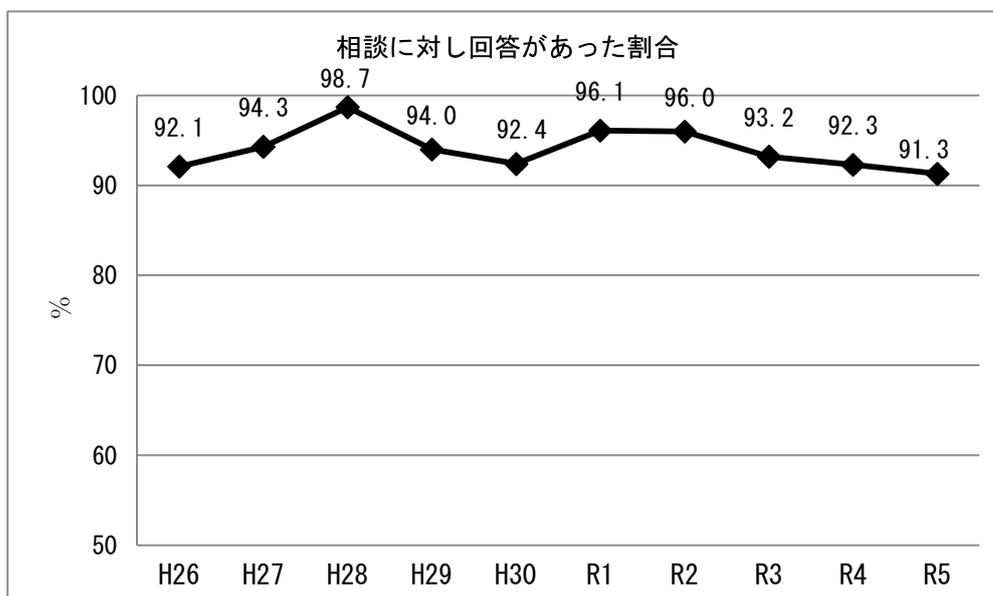
その他・わからなかった 13.7% (10件)



⑤ 第1類医薬品販売時の相談に対し回答があったかどうか：

調査件数 80 件（薬局 31 件 店舗販売業 49 件）

回答あり 91.3% (73件) / 回答なし 8.8% (7件)

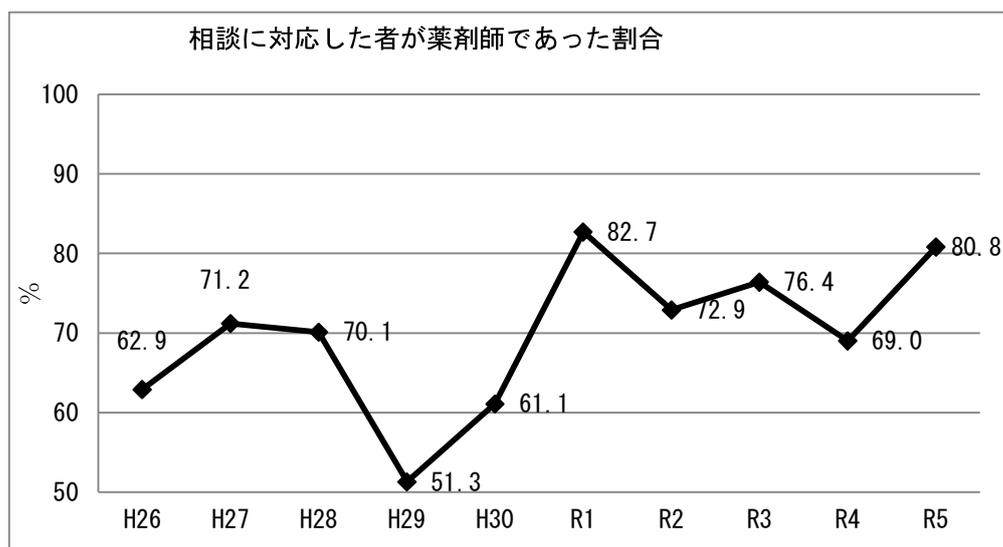


⑥ ⑤の相談に対応した者の資格：

調査件数：73件（薬局29件 店舗販売業44件）

薬剤師 80.8% (59件) / 登録販売者 2.7% (2件) /

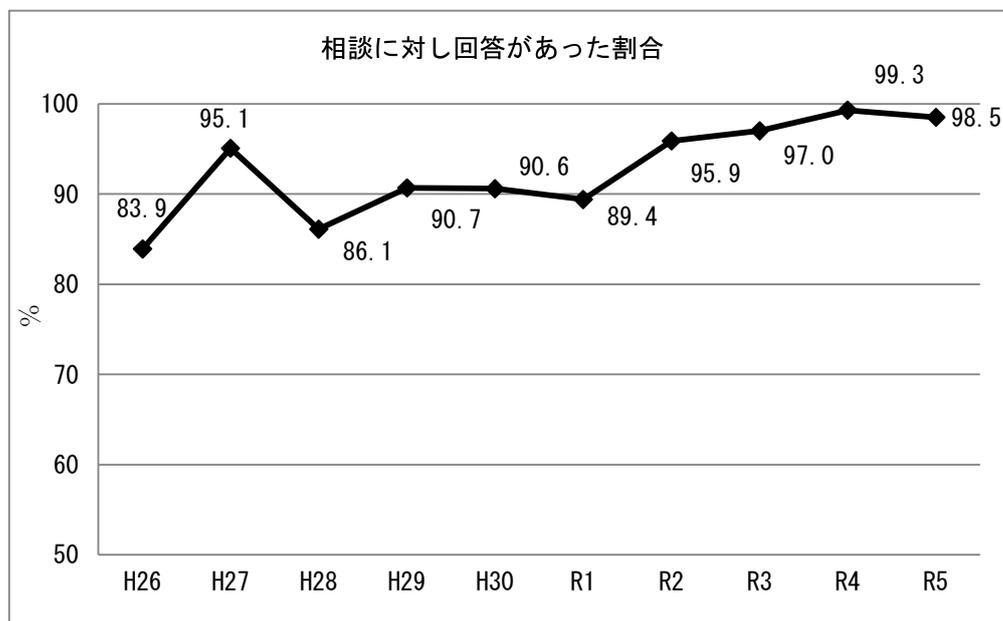
その他・わからなかった 16.4% (12件)



⑦ 第2類医薬品等に関する相談に対し回答があったかどうか：

調査件数405件（薬局114件 店舗販売業291件）

回答あり 98.5%(399件)／回答なし 1.5%(6件)



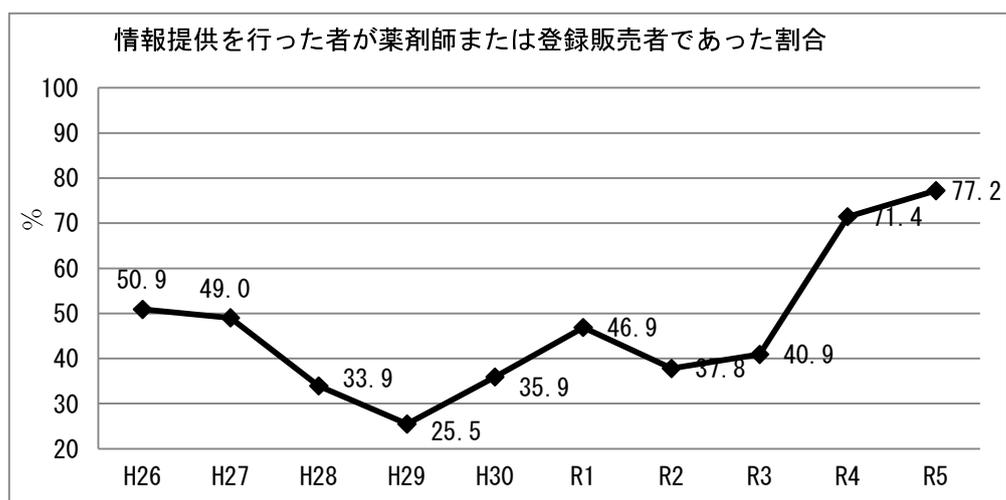
※相談に対し返信があった割合

⑧ ⑦の相談に対応した者の資格：

調査件数399件（薬局112件 店舗販売業287件）

薬剤師 29.6%(118件)／登録販売者 47.6%(190件)／

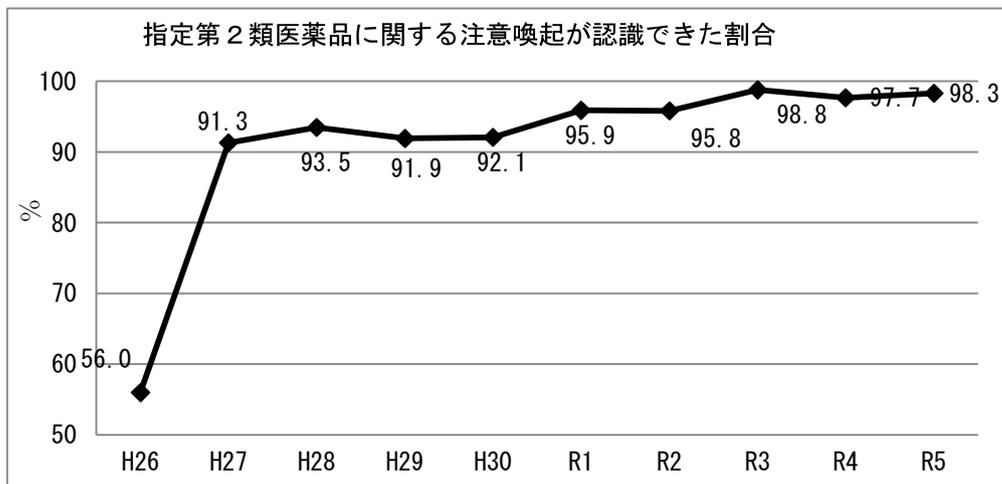
その他・わからなかった 22.8%(91件)



⑨ 指定第2類医薬品に関する注意喚起(\*)の状況:

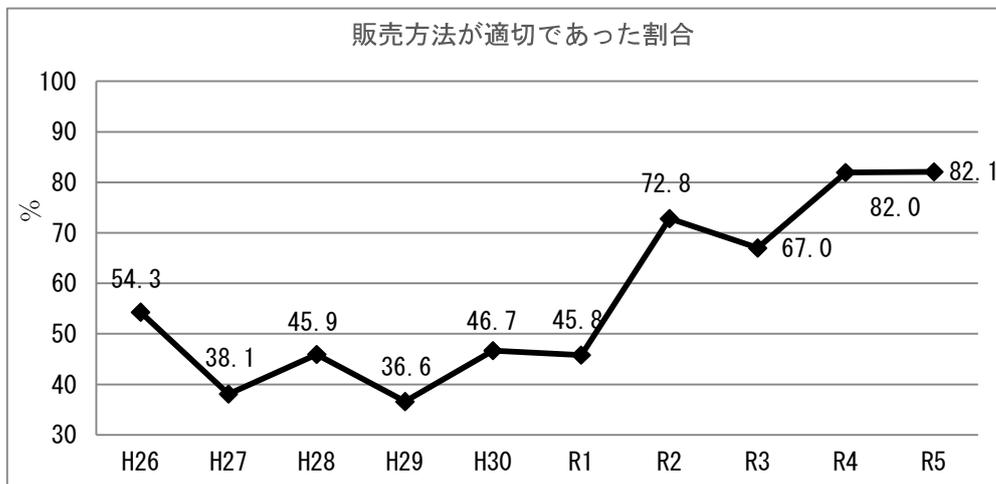
調査件数242件(薬局54件 店舗販売業188件)

認識できた 98.3%(238件) / 認識できなかった 1.7%(4件)



\* 「禁忌を確認すること」、「薬剤師または登録販売者に相談すること」を勧める旨

- ⑩ 濫用等のおそれのある医薬品（\*1）を複数購入しようとした時の対応（\*2）：  
 調査件数140件（薬局27件 店舗販売業113件）  
 1つしか購入できなかった（\*3） 77.1%(108件)／複数必要な理由を伝えたところ、購入できた 5.0%(7件)／質問等されずに購入できた 17.9%(25件)

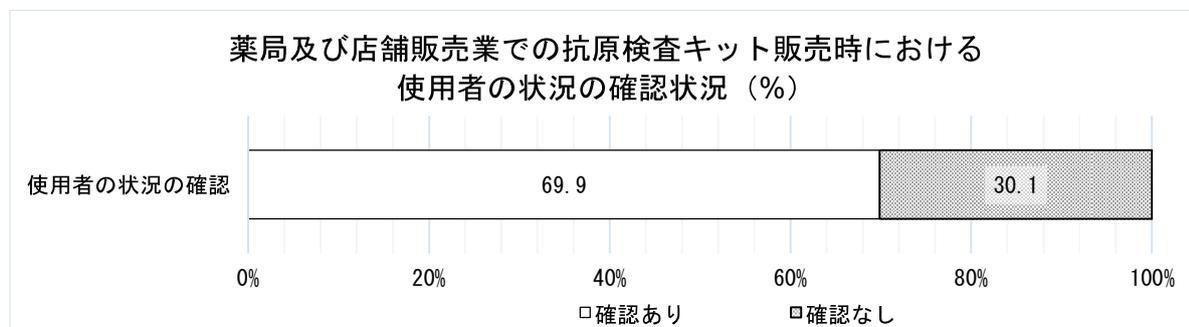


- \*1 エフェドリン／コデイン／ジヒドロコデイン／ブロモバレリル尿素／プソイドエフェドリン／メチルエフェドリンを成分として含有する医薬品。
- \*2 「1つしか購入できなかった」、「複数必要な理由を伝えたところ、購入できた」、「その他（購入せずに医者を受診するようにすすめられた等）」を販売方法が適切であったとした。
- \*3 「1つしか購入できなかった」際の好事例として、プルダウン等でカートに1つしか入れられない仕様になっていたことが挙げられる。また、一般的に、一定期間は連続して購入が出来ない仕様になっていることも好事例として挙げられる。一方で、対応が適切でなかったものとして、カートに2つ入れ、特に理由等の確認もなく購入手続きが完了し、実際に複数個医薬品が届いた事例が挙げられる。

**(3) 一般用新型コロナウイルス抗原定性検査キット(以下「抗原検査キット」という。)に関する調査**

調査件数136件 (薬局 109件、店舗販売業 27件)

① 使用者の状況の確認状況について



抗原検査キット販売時の使用者の確認の実施状況

件数 (割合 (%))

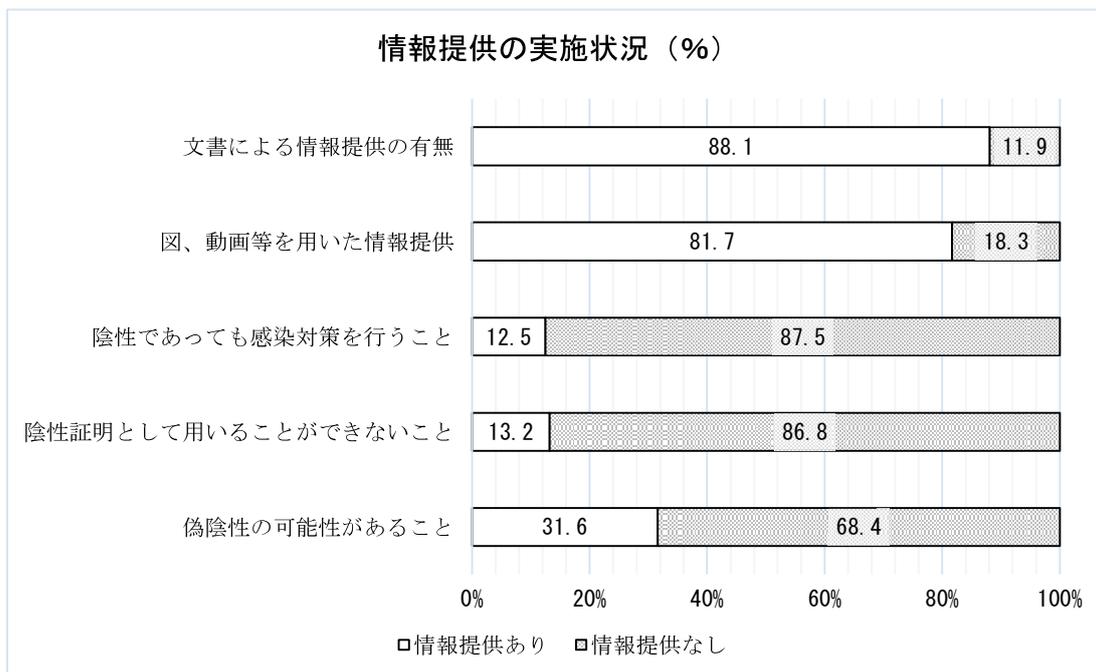
項目\確認の有無	薬局 (109 件)		店舗販売業 (27 件)		計 (136 件)	
	確認あり	確認なし	確認あり	確認なし	確認あり	確認なし
使用者の状況の確認 (全体)	77 (70.6)	32 (29.4)	18 (66.7)	9 (33.3)	95 (69.9)	41 (30.1)

薬局・店舗販売業での店舗販売時における、第1類医薬品販売時の確認事項(3(1)⑥~⑪)と同項目の確認の状況

件数(割合(%))

	薬局		店舗販売業		全体	
	あり	なし	あり	なし	あり	なし
使用者の状況の確認	77 (70.6)	32 (29.4)	18 (66.7)	9 (33.3)	95 (69.9)	41 (30.1)
文書による情報提供の有無	91 (89.2)	11 (10.8)	20 (83.3)	4 (16.7)	111 (88.1)	15 (11.9)
情報提供された内容を理解したかどうか等の確認の有無	78 (76.5)	24 (23.5)	15 (62.5)	9 (37.5)	93 (73.8)	33 (26.2)
情報提供を行った者が薬剤師であった	97 (95.1)	5 (4.9)	23 (95.8)	1 (4.2)	120 (95.2)	6 (4.8)
相談に対して適切な回答があったか	106 (97.2)	3 (2.8)	26 (96.3)	1 (3.7)	132 (97.1)	4 (2.9)
相談に対応した者の資格が薬剤師であった	99 (90.8)	10 (9.2)	25 (92.6)	2 (7.4)	124 (91.2)	12 (8.8)

② 抗原検査キット販売時における情報提供について



**抗原検査キット販売時の情報提供の実施状況**

件数（割合（％））

項目\情報提供の有無	薬局		店舗販売業		全体	
	あり	なし	あり	なし	あり	なし
文書による情報提供（再掲）※	91 (89.2)	11 (10.8)	20 (83.3)	4 (16.7)	111 (88.1)	15 (11.9)
図、動画等を用いた情報提供※	86 (84.3)	16 (15.7)	17 (70.8)	7 (29.2)	103 (81.7)	23 (18.3)
陰性であっても感染対策を行うこと	14 (12.8)	95 (87.2)	3 (11.1)	24 (88.9)	17 (12.5)	119 (87.5)
陰性証明として用いることができないこと	14 (12.8)	95 (87.2)	4 (14.8)	23 (85.2)	18 (13.2)	118 (86.8)
偽陰性の可能性があること	36 (33.0)	73 (67.0)	7 (25.9)	20 (74.1)	43 (31.6)	93 (68.4)

※ 情報提供があった店舗（令和5年度126件（92.6％））について、そのうち文書を用いて情報提供があった等の件数

※ 情報提供があった店舗（令和5年度126件（92.6％））について、そのうち図、動画等を用いて情報提供があった件数